

防災・減災部門

低地区総合浸水対策緊急事業による床上浸水の解消とストック効果の発現

鹿児島市水道局

受賞事例の概要



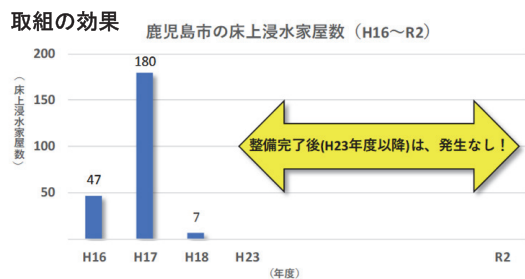
PR ポイント!

本市では、H5年8月豪雨で大規模な浸水被害が発生し、総合治水対策を行いました。H16・17年に低地区で内水氾濫による大規模な浸水被害が発生し、危機意識の高い市民に不安を抱かせました。

そこで、本事業によりハード・ソフト対策の強化を図り、地域住民と協同し、次世代にこの教訓を活かすための説明会等も行ってきました。

事業完了後の大雨や大型台風において浸水被害は発生せず、浸水被害軽減に大きく貢献しています。

取組の効果!



Key Person



雨水整備室 専門員
甲斐利彦

下水道総合浸水対策緊急事業（現：下水道浸水被害軽減総合事業）の計画を策定するにあたり、床上浸水等の被害を受けた対象地区の住民の皆さんの不安が軽減できるよう多くの説明会を実施しました。説明会では、発生した浸水のメカニズムや計画施設の能力についての説明、また、施設完成後のデモンストレーション等、延べ50回以上（参加者1,000人以上）行いました。計画の説明を十分に行えたこと、地区住民の皆さんの理解や協力を得られましたが、事業の成功につながったと考えています。